

大野保育園保健だより 3月号

令和8年3月10日

文責:町田 幸代

少しずつ暖かくなり始め、柔らかな春の日差しを感じるようになりました。4月からの進級、進学に向け、子どもたちのワクワクしている様子が見られます。あっという間に1年も終わりに近付いています。病気やけがに気を付け、残りの日々も楽しく過ごしましょう。

1年間、健康に過ごせましたか？

お子さんと一緒に1年間を振り返ってチェックをしてみてください。チェックのできなかった項目は4月からの目標にしてみましょう。

- ☐ 早寝早起きができた
- ☐ 朝ご飯は毎日食べた
- ☐ 好き嫌いをせずに何でも食べた
- ☐ 食後は歯みがきをした
- ☐ 毎朝、うんちをした
- ☐ 外でたくさん遊んだ
- ☐ 外から帰ったら手洗い・うがいをした
- ☐ 友達と仲良く遊ぶことができた

2月の感染者情報

- インフルエンザ・・・30人
- 嘔吐・・・1人
- 胃腸炎・・・1人
- 下痢・・・2人
- 発熱・・・24人
- 気管支炎・・・1人
- 突発性発疹・・・1人

※現在有明保健所管内ではインフルエンザ、胃腸炎、溶連菌が流行しています。引き続き手洗いうがいをを行い、感染症予防に努めていきましょう。また、何か症状が出た際には、早めに病院受診をお願いします。また、診断結果を園の方まで連絡をお願い致します。

母子健康手帳、定期的に見直してみませんか？

母子健康手帳は、お母さんの妊娠から出産、そして、お子さんの出生から成人するまでの健康を記録するもの。引っ越ししたり、転院したりしても、お母さんとお子さんの健康を切れ目なくサポートするための大切な記録です。

チェック1

身体発達曲線に 育ちを記録していますか？

身体発達曲線(成長曲線)には、子供の身長と体重の育ちの目安がのっています。ここに、お子さんの身長と体重の測定値を記入し、線で結んでみましょう。成長曲線の目安とお子さんの測定値のグラフが平行に伸びていれば、順調に成長していることが分かります。

チェック3

保管場所を決めていますか？

母子健康手帳は、小学生になると使う機会が少なくなりますが、お子さんにとっては大切な「健康の履歴書」です。将来、留学や仕事などで予防接種の接種歴を見るなど、必要な場面があります。家族で置き場所を決めて、大切に保管しておきましょう。

チェック2

予防接種の受けそびれはありませんか？

3歳以降は予防接種の数が減るため、つい忘れがちですが、日本脳炎やMR、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)などの追加接種があります。せっかく最初の接種を受けても、追加接種を受けないと免疫が十分につきません。追加接種を受けそびれないように気を付けましょう。また、二種混合ワクチンや子宮頸癌ワクチン等、小学生以降に受ける予防接種も記録します。就学後もときどきチェックしましょう。

中学生や高校生になったとき、 成長を振り返る記録になります！

母子健康手帳を使うのは主に6歳までですが、それ以降も大切に保管しておきましょう。大きくなってから、本人が成長を振り返る時にも母子健康手帳は便利です。